

一般質問

市政全般にわたり18人の議員が質問
(紙面の都合により要旨を掲載)

沖本議員(市政クラブ)
IT事業について
近年「情報バリアフリー」の観点から、だれもがホームページやウェブ・システムを利用することができるようになるという考えから、ウェブ・アクセシビリティの推進、あるいは維持・向上を実現するための取り組みが求められております。アクセシビリティとは「受け入れられやすさ」という意味の英単語であり、特に高齢者や障害者などハンディを持つ人にとって、どの程度利用しやすいかという意味で使われております。例えば手や腕の障害のためにマウスを使えない場合、ソフトウェアはキーボードだけで利用可能である必要がある。視覚障害の人は読み上げソフトを使

ウェブ・アクセシビリティの推進を

うので、それに適したレイアウトや記述方法が求められるなどです。当市におけるウェブ・アクセシビリティ指針の策定における進捗、達成状況を伺います。

市長 平成十六年度に行政改革推進本部から指針を示していただき、ホームページによる市民等への行政情報の充実・拡大の資料として、ウェブ・アクセシビリティの指針を作成していただきました。情報推進課で活用し、チェックを行っていただいているという状況でございます。ホームページの普及を促していく上で、使い勝手とわかりやすさの向上は不可欠であると思っておりますので、今後ともさらに努力をさせていただきます。

伊澤議員(市政クラブ)
教育問題について
教員免許を更新制にするという中間報告を中央教育審議会がまとめた。教員は十年ごとに国の定める大学の講習を受け、認定されなければ免許を失うことになる。日本では既に教員研修制度が整備され、公立学校の教員には特に徹底されています。医師免許、弁護士免許、司法書士免許などは、いづれも一度資格を取得すれば、社会的問題を引き起こさない限りほとんど免許を失うことはありません。なぜ教員だけが十年で講習を受け、認定されなければ免許を失うことになるのでしょうか。更新制の導入は、教員の質を向上させる方法としてふさわしいのでしょうか。

教員免許更新制を問う

不適格教員を排除する方法としてふさわしいのでしょうか。教育長のご所見を伺います。

教育長 「今後の教員養成・免許制度の在り方について」の中間報告では、教員として必要な資質・能力を確実に確保するということをねらいとして更新制導入の必要性が提言されました。今回の中間報告では、制度導入の必要性を別の観点からとらえ、不適格教員の対処は人事管理システムや分限制度等の厳格な運用によることが適当であるとされた点については同調いたしますが、教員の質の向上については、一定の効果はあるものの現在の研修制度と比べてどのような差異が生じるのか、今回の報告から判断することは難しいと考えます。

大矢議員(政和会)
保育所の安全対策について
子供が犯罪被害者になる事件が多発している中、保育所の安全対策について伺います。

平成十八年度予算において、保育所に緊急通報システムの導入が盛り込まれておりますが、具体的にどのような内容をお伺いいたします。

保育所の安全対策について

園児に対しての交通安全指導はどのように行われているのかお聞きいたします。さらに、侵入者への対策につきましても、定期的に職員会議の議題として取り上げ、具体的には訪問予定者の確認、施錠の可否となっております。

市長 緊急システムにつき

障害者が安心して暮らせる街に

山本議員(政和会)
障害者自立支援法について
障害者自立支援法が四月からスタートします。障害者がガイドヘルプ等のサービスをを受けると、一割の応益負担が生じることになります。障害年金に頼っている障害者にとって大きな負担であり、応益負担です。サービスを受ければ受けるほど負担が重くなります。この法律の趣旨は、障害を持つ人が地域の中で安心して自立した生活を送ることにあります。特に親亡き後、子供たちが安心して地域の中で暮らしていけるのかお聞きいたします。また、保育所に不審者が侵入した場合、小・中学校とは違い保育士のほとんどが女性という特殊な状況下において、どのような対応・対策がとられるのかお伺いいたします。

どうかは親にとって最大の関心事であり、兄弟が少なく地域連帯の希薄化が進む中において、唯一頼りになるのは行政の施策です。その行政が一人の負担を導いてサービスを抑制するのは、自立支援法の趣旨に反しているのではないかと思います。

さらに、今後、更正入所施設の開設は一切認めない「脱施設」の方針を打ち出し、施設から地域に戻す方向ということでもあります。

しかし、知的障害の方が地域で暮らすとしても、本市の場合、宿泊できる施設は四

ましては、園内に設置した非常ボタンを押すと自動的に一〇番通報され、この保育園なのか特定ができ、保育園とのやり取りにより警察が状況を判断し緊急出動を行う内容となっております。

市長 道路管理として、樹木の枝等は地権者の了承なしに除去はできないので地権者に連絡をし、除去をお願いしております。しかしながら、お年寄りや弱者しか対応できない方がいない場合は、担当者が話を伺い、市職員が枝葉の除去を行う場合もあります。

吉田議員(自民党明政会)
市長の政治姿勢について
市長が総合交通対策に精力的に取り組んでおられることを高く評価いたします。

また、平成十七年十月には、バリアフリー法に基づいて本

市の基本構想が策定され、今年度から相武台前駅中心に重点整備地区として三路線を整備する。市内を六地区に分けて進めること。高齢者、障害者、妊産婦、よちよち歩きの子供らで安心して通れるすばらしい道路行政をお願いするところでもあります。

市長 障害福祉は基本的には国がまず方向をきつちりと決めるべきだと思います。今年度中に障害福祉計画を策定することになっており、対象者の声を聞き、地域で安心して暮らしていくための施策を確立していきたい。

確認、定期的な門扉・フェンスの確認、訓練・講習の実施さらには不審者情報を提供することにより保護者にも注意喚起し、不審者侵入の緊急時においては、園児の非難誘導・通報までの行動・対応をマニュアル化し、保育士に周知徹底を図るよう努めてまいります。交通安全対策につきましても、交通安全教室の開催、職員の中から安全対策担当を決め、交通安全指導の実施をいたしております。

は国がまず方向をきつちりと決めるべきだと思います。今年度中に障害福祉計画を策定することになっており、対象者の声を聞き、地域で安心して暮らしていくための施策を確立していきたい。

市長 障害福祉は基本的には国がまず方向をきつちりと決めるべきだと思います。今年度中に障害福祉計画を策定することになっており、対象者の声を聞き、地域で安心して暮らしていくための施策を確立していきたい。

内容あるアンケート調査実施
柏木議員(日本共産党)
教育行政について
二月十五日発行の本市広報によれば、各中学校において弁当を販売する予定で業者を募っております。それに先立ち保護者と生徒に業者弁当についてのアンケート調査を行うことですが、業者弁当を利用したことがあると答えた方は十二名、ないと答えた方はゼロとのことでした。こんなに少ない回答数で有効なアンケートと言えるのでしょうか。何の目的で実施し、対象者は誰で何人に回答を求めたのか。回収率はどれくらいであったのか。今回のアンケート結果を受け、業者弁当を全校に広げようとしていると推察しますが、そうでない場合は、担当者が話を伺い、市職員が枝葉の除去を行う場合もあります。

通行の用に供しております。市街化区域に砂利道があるようでは文化都市とはいえず。これから本市は、公共下水道雨水管を布設することにもなります。私道は寄付を条件としておりますが、市が私道を借り上げ、公道並み整備をするようお願いし、小さな政府として日本の条例制定をしてはいかげでしょうか。市長の所見を伺います。

市長 道路の関係で公共用道路、位置指定道路は、基本的には税の賦課はいたしておりませんが、日本一の条例をつくれと傲をいただきました。吉田議員さんからの私道対策に関する新たなご提言として受け止め、各関係方面の意見を十分聞き取り、今後、協議、検討してまいります。